

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 181919

エポニックス#90下塗-R

1. 塗料名 亜鉛めっき面用エポキシ樹脂塗料下塗
2. 規格 鋼道路橋塗装用塗料標準 (2014)
3. 特徴
1) 溶融亜鉛めっき面との付着性にすぐれている。
2) 耐水性、耐薬品性にすぐれている。
3) 防食性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	20kg セット(主剤 17kg、硬化剤 3kg)				
色相	グレー、ホワイト				
密度 (23°C)	塗料	1.36 (グレー)			
	揮発分	0.85			
加熱残分	70% (グレー)				
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	指触	1時間	45分	20分	15分
	半硬化	10時間	8時間	6時間	4時間
標準膜厚	40 μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容		
素地調整*	スィープラスト ISO Sa1		
調合法	主剤 85部、硬化剤 15部 (重量比)		
可使時間*	10°C	20°C	30°C
	8時間以内	5時間以内	3時間以内
温度・湿度制限*	温度: 5°C以下、湿度: 85RH%以上		
使用シンナー	エポニックス橋梁用シンナー		
塗装法	塗装方法*	刷毛、ローラー塗装	エアレス塗装
	希釈率*	10%以下	20%以下
	標準使用量*	160g/m ²	200g/m ²
	目標膜厚*	40 μm	40 μm
	ウェット管理膜厚	100 μm	100 μm
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa (4kg/cm ²) 以上 2次圧 12MPa (120kg/cm ²) 以上 チップ No. 163-315~519		
塗装間隔* (20°C)	最小	1日	
	最大	10日	

注) *は「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので、必ず規定範囲内で塗り重ねを終了すること。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

ホルムアルデヒド放散等級: F☆☆☆☆

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。